

# 平成31年度予算が成立

— 財政健全化へ5月に計画策定 —

平成31年度の一般会計予算と特別会計予算、公営企業会計予算が、3月定例議会で成立しました。

なお予算書は、市役所、図書館、各校区コミュニティセンターで閲覧できます。

●問合せ先 財政課財政係 ☎72-2111



## 新年度予算の お知らせにあたって

小郡市長 加地良光

### 「つながるまち小郡」の始動

私が市長に就任してまもなく2年、少子高齢化・人口急減時代を控える中、小郡市の向かうべきまちづくりを「つながるまち小郡」として、市政運営を行っています。

多様な地域課題を解決し、まちの潜在力を発揮させるため、就任後真っ先に着手したのは、市民と私たち行政との「つながり」の基盤を作ることでした。

そのため、市民、区長、まち協の皆さんなど対話集会を繰り返し、市民の声を聞き、市の考えを説明してきました。そして、市が取り組む事業については、市民・有識者・周辺自治体の職員に参加してもらい点検を行う「サービステック」を実施。市民参加型のワークショップを重要な手続きとして各種計画作りに取り入れました。

### 「マニフェストの実施

次に取り組んだのは、市民の皆さま

らとの契約であるマニフェスト(政策公約)の実施です。すでに進行中の第5次総合振興計画との整合性を図りながら、『つながるまち小郡アクションプラン』を策定しました。それを実行していく上で、大きな課題となるのは「財政問題」です。

私の就任前、平成28年度に作られた3か年の実施計画(平成29～31年度)に位置付けられた数々の事業は、国や県の補助申請、地権者など関係者との協議により、途中でやめることができず。そのため、市の貯金である財政調整基金を取り崩さなければ予算編成ができないほどの状況でした。これに、各部署が歳入総額に関係なく、必要と判断した事業予算を積み上げていく方法がとられ、予算の膨張に拍車をかけていたので

### 「前進するための意識改革

そこで、部署ごとに一定の財源枠を定め、財源に見合った歳出予算の編成を基本に、事業の優先順位を決めていくビルド&スクラップの意識改革を行いました。平成31年度当初予算編成においては、どうしても止められない事業を除き、「選択と集中」で、予算要求額に対し約21億円を圧縮することができました。

さらに、自主財源の確保策として、特産品がないために難しいとされてきた「ふるさと納税」の取組を強化。平成30年度は、就任前の15倍の3億3千万円まで拡大することができたので、アクションプランの財源として活用していきます。また、予算をかけなくてもできる民間とのつながりによる事業も推進。防犯カメラ設置支援の自動販売機の県内初導入、児童の安全な登下校の管理ができるICタグ「ツイタもん」の市内一斉導入など、他の自治体から注目される事業を展開してきました。今後も民間との連携を推進していきます。

### 「財政健全化へのさらなる取組

公共施設の補修など先送りされている事業に向き合いながら、今年度の予算執行においては、極力支出削減に努めます。

また、5月末を目前に、財政健全化計画を定め、危機的な財政状況を全庁的に再認識しながら、来年度は歳入に見合った予算編成に取り組みます。

「つながるまち小郡」をさらに前進させるようにこれからも頑張りますので、市民の皆さまのご理解、ご協力をお願いします。

## 主な事業をピックアップ

●印の事業はふるさと納税による寄附金を活用した事業です。

### 都市機能・都市基盤づくり

#### 道路・交通網

★スマートIC設置関連事業 3,460万5千円

九州自動車道鳥栖JCT～久留米IC間にスマートインターチェンジの設置が事業決定されたことに伴い、アクセス道路の測量などを行います。

●公共交通調査事業 392万円

公共交通の現状や課題を調査・整理し、今後の地域公共交通体系づくりにつなげます。

### 活力ある産業づくり

#### 農業

★水田農業担い手機械導入支援事業 3,000万円

安定した農業経営体を育成し、農業の経営力を強化するため、農業機械の導入に対し、補助を行い、農業振興を推進します。

#### 観光

●七夕プロジェクト事業 850万円

市の地域資源である「七夕」を地域ブランドとして確立し、地域活性化をめざします。



▲七夕プロジェクトワークショップの様子

### 住環境づくり

#### 住環境

★市営住宅建設事業 11億7,927万4千円

若山住宅と井上第2住宅を統合し、老朽化した市営住宅を建て替えます。

★ブロック塀等撤去促進事業 109万円

地震発生時の被害を減らすため、危険性の高いブロック塀等の撤去工事に対し、補助金を交付します。

### 健康と福祉づくり

#### 地域福祉

●買い物支援事業 120万円

味坂校区協働のまちづくり協議会が行っている買い物支援事業の運営と、31年度から開始する移動販売事業を支援します。



▲買い物支援事業「あじっこ市場」

### 教育と地域文化づくり

#### 学校教育

★のぞみが丘小学校給食施設整備事業 2億6,833万5千円

自校式給食施設を年次的に整備しています。31年度はのぞみが丘小学校に整備します。

●小規模校魅力化推進事業 951万5千円

小規模校の特色を生かした魅力ある学校づくりをすすめ、小規模校の活性化を図ります。

#### 文化財

★甘木鉄道沿線サイン整備事業 1,500万円

甘木鉄道沿線に所在する文化財への案内標識を整備することで、文化財の周知と活用を図ります。

### 地域自治体制づくり

#### 行財政運営

★ふるさと納税推進事業 3億3,524万4千円

魅力的な特産品などの発掘を行い、寄附金のさらなる拡大に努めます。また、寄附金の用途を広げ、市民ニーズの高い事業へ活用し、地域の活性化をすすめます。

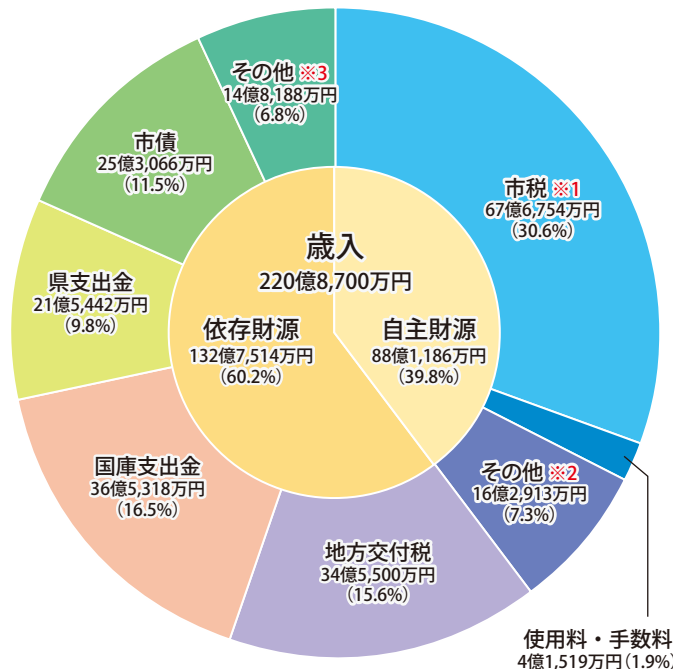
# 平成31年度予算概要

一般会計予算額は、220億8,700万円で、前年度の予算額204億6,400万円より7.9%の増と大きな伸びとなりました。特別会計予算額は、107億1,967万9千円で、前年度の予算額110億4,615万1千円より3.0%の減、公営企業会計予算額は、32億839万1千円で、前年度の予算額32億3,837万5千円より0.9%の減となりました。



## 一般会計・歳入

歳入の根幹となる市税は、前年度(66億4,255万円)から1.9%増となり、地方交付税は、前年度(34億319万円)から1.5%の増となります。



※1

### 〈市税の内訳〉

市民税	33億8,636万円
（個人	29億6,504万円
（法人	4億2,132万円
固定資産税	27億4,531万円
軽自動車税	1億4,832万円
市たばこ税	4億8,755万円

※2

### 〈自主財源：その他の内訳〉

分担金・負担金	2億6,750万円
財産収入	2,684万円
寄附金	2億80万円
繰入金	9億3,323万円
諸収入	2億76万円

## 用語の解説

- ◆**市税** 皆さんから市に納めていただいた税金(市民税・固定資産税など)
- ◆**使用料・手数料** あすてらすや運動公園などの使用料や住民票発行などの手数料
- ◆**地方交付税** 国が徴収する税金の中から市の財政状況に応じて交付されるお金
- ◆**市債** 事業を行うために市が借り入れるお金
- ◆**自主財源** 市税や施設の使用料など市が独自で調達するお金
- ◆**依存財源** 国・県などの意志により交付されるお金
- ◆**特別会計** 特定の収入を特定の支出にあて、一般会計と経理を別にして運営する会計
- ◆**公営企業会計** 民間企業と同様の会計基準に基づき、発生主義、複式簿記を採用して運営する会計

※3

### 〈依存財源：その他の内訳〉

地方譲与税	1億9,790万円
利子割交付金	1,500万円
配当割交付金	3,600万円
株式等譲渡所得割交付金	3,600万円
地方消費税交付金	9億5,800万円
ゴルフ場利用税交付金	1,800万円
自動車取得税交付金	4,000万円
環境性能割交付金	2,600万円
国有提供施設等所在 市町村助成交付金	800万円
地方特例交付金	1億3,498万円
交通安全対策特別交付金	1,200万円

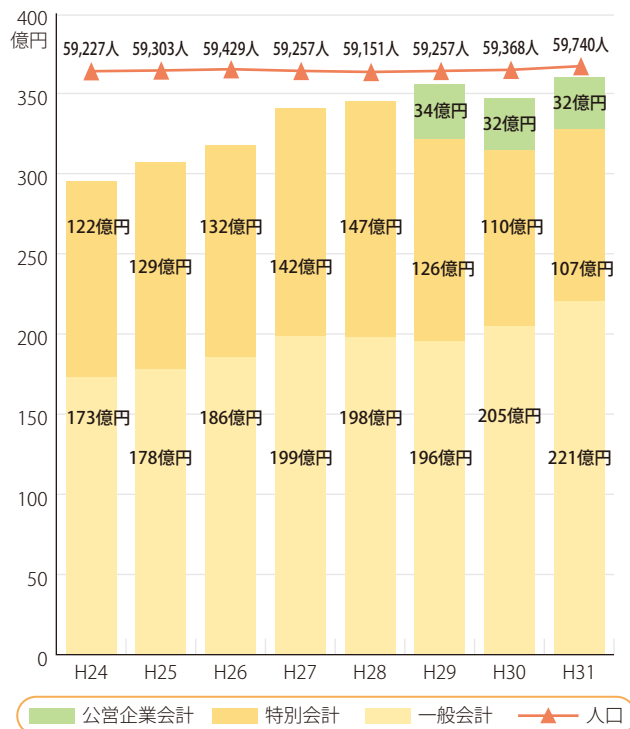
## 当初予算規模

※( )内は前年度比増減率

◇一般会計	220億8,700万円(7.9%増)
◇特別会計	107億1,967万9千円(3.0%減)
(内 訳)	
・国民健康保険事業特別会計	55億1,172万1千円(7.6%減)
・後期高齢者医療特別会計	9億9,079万1千円(5.1%増)
・介護保険事業特別会計	
介護保険事業勘定	41億1,323万1千円(1.9%増)
介護サービス事業勘定	4,674万1千円(5.9%増)
・住宅新築資金等貸付事業特別会計	1,073万9千円(1.2%増)
・工業団地整備事業特別会計	4,645万6千円(0.1%減)
◇公営企業会計	32億839万1千円(0.9%減)
(内 訳)	
・下水道事業会計	
収益的支出	17億5,915万9千円(0.8%増)
資本的支出	14億4,923万2千円(2.9%減)
◆予算総額	360億1,507万円(3.6%増)

## 人口と予算の推移

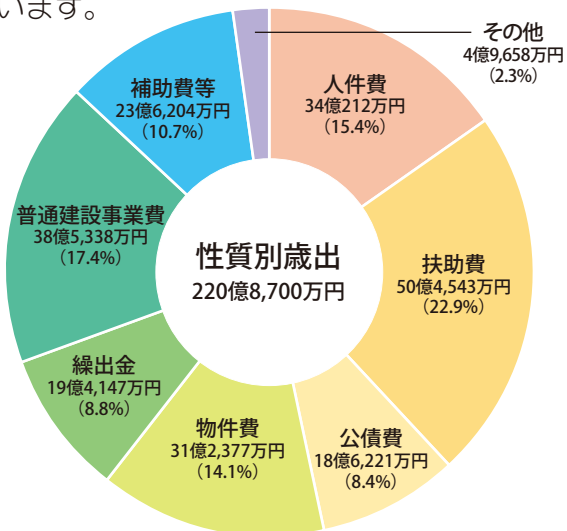
※一般会計当初予算が骨格予算の場合は、6月補正後(内付け後)予算を使用(人口:各年度4月1日現在、ただし平成31年度のみ平成31年3月1日現在)



## 一般会計・歳出

### ●性質別歳出

義務的経費(支出が義務付けられ任意に削減できない経費、「人件費」・「扶助費」・「公債費」の合計)が、46.7%と全体の約半分を占めています。

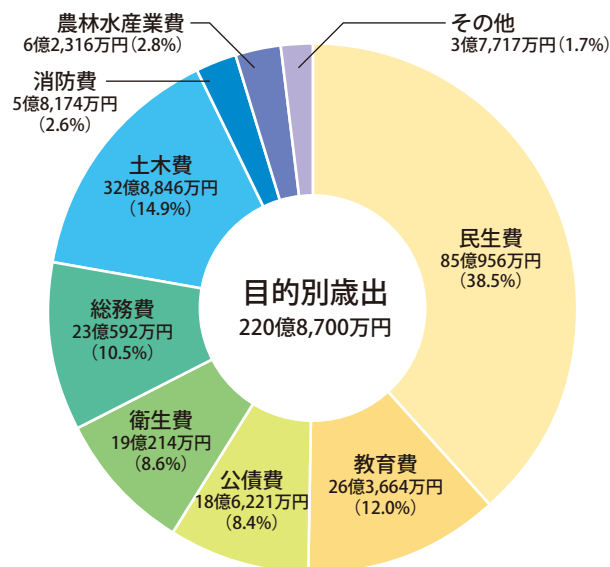


### ～性質別歳出～

- ◆人件費 職員や特別職の給与、議員や各種委員会委員の報酬に使うお金
- ◆扶助費 生活保護費、児童手当、医療費などに使うお金
- ◆物件費 委託料、光熱水費、備品購入費などに使うお金
- ◆繰出金 各特別会計に対する一般会計からの支出に使うお金
- ◆普通建設事業費 道路・橋梁などの整備や公共施設の新設増改築などに使うお金
- ◆補助費等 団体への補助金や負担金に使うお金

### ●目的別歳出

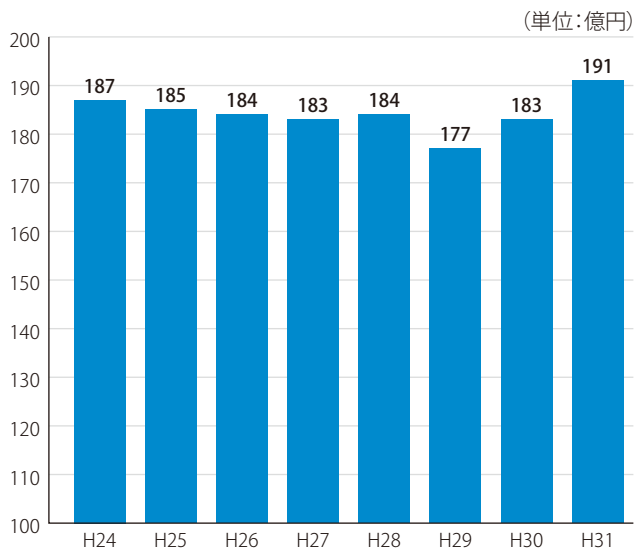
社会福祉や高齢者、児童福祉などに使われる「民生費」が約4割を占めています。



### ～目的別歳出～

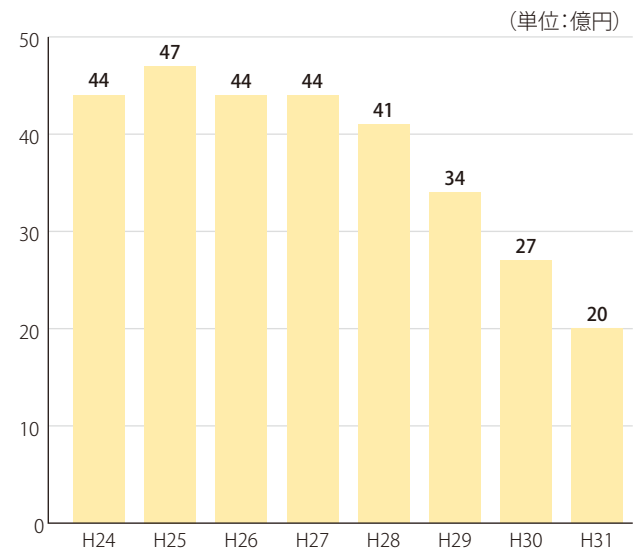
- ◆民生費 福祉全般の事務・事業に使うお金
- ◆教育費 小・中学校の運営費用、図書館など教育全般の事務・事業に使うお金
- ◆公債費 借り入れたお金を返済するためのお金
- ◆衛生費 感染症予防、成人保健、母子保健や環境保全、ごみ処理などに使うお金
- ◆総務費 課税徴収、選挙など市の総括的な事務に使うお金
- ◆土木費 都市基盤整備や道路、公園、河川などの維持管理・改良などに使うお金

## 市債残高の推移（一般会計）



市債とは、道路や公園、学校施設などを整備する際に借り入れるお金のことで、市の「借金」にあたるものです。普通建設事業の増加により、31年度には残高が約8億円増え、191億円となる見込みです。

## 基金残高の推移（一般会計）

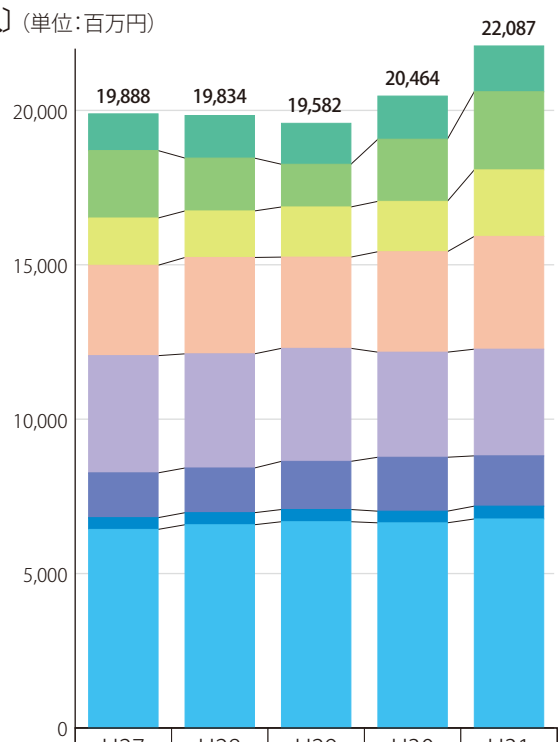


基金とは、市の「貯金」にあたるものです。31年度末の残高は20億円となる見込みです。

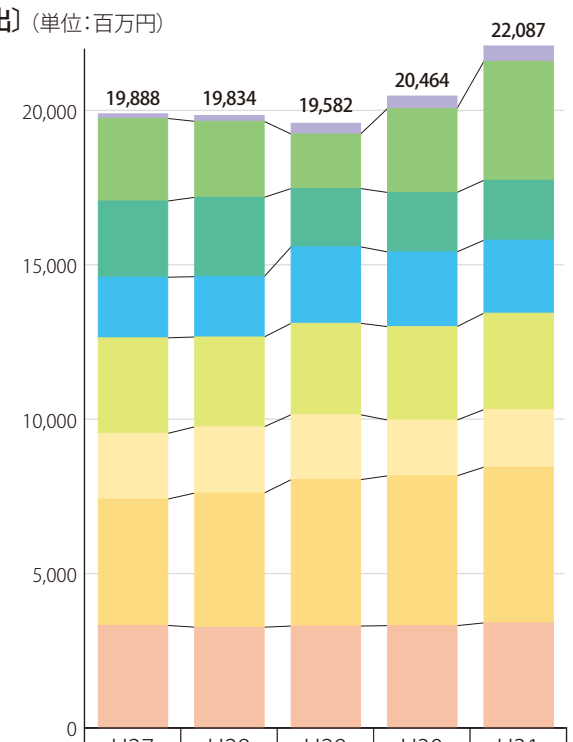
## 一般会計予算の推移（内訳）

歳入では主に県支出金と市債が増えています。歳出では市営住宅建設事業により普通建設事業費が前年度予算と比較して41.7%の増となっています。  
※一般会計当初予算が骨格予算の場合は6月補正後（肉付け後）予算を使用

〔歳入〕（単位：百万円）



〔歳出〕（単位：百万円）



■ その他(依存財源)	1,189	1,379	1,327	1,398	1,482
■ 市債	2,184	1,711	1,382	2,012	2,531
■ 県支出金	1,531	1,507	1,624	1,631	2,154
■ 国庫支出金	2,927	3,121	2,955	3,253	3,653
■ 地方交付税	3,796	3,697	3,660	3,403	3,455
■ その他(自主財源)	1,451	1,448	1,560	1,747	1,629
■ 使用料・手数料	380	390	395	377	415
■ 市税	6,430	6,581	6,679	6,643	6,768

■ その他	148	189	348	403	497
■ 普通建設事業費	2,675	2,461	1,765	2,719	3,853
■ 繰出金	2,467	2,570	1,887	1,926	1,942
■ 補助費等	1,964	1,953	2,477	2,419	2,362
■ 物件費	3,095	2,908	2,962	3,025	3,124
■ 公債費	2,127	2,146	2,102	1,808	1,862
■ 扶助費	4,092	4,343	4,741	4,851	5,045
■ 人件費	3,320	3,264	3,300	3,313	3,402